環境活動レポート

株式会社ホクノー

2019年10月31日

（実績　2018年8月1日～2019年7月31日）

1. 事業所名及び代表者氏名

株式会社ホクノー

代表取締役社長　野地　秀一

2. 所在地

〒004-0014　北海道札幌市厚別区もみじ台北7丁目1-2

3. 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者　取締役管理部長　鈴木　和敏（連絡先　TEL：011-897-2012　FAX:011-897-2046）

4. 事業内容の概要

食品小売、雑貨書籍販売および不動産、公園施設の管理、飲食

5. 事業の規模（主要製品の生産量・出荷額・従業員数、事業所の延べ床面積等）

活動規模	単位	３０年度
売上高	百万円	売上規模（3,415）
従業員	人	8h換算148人（総人数245人）
床面積	㎡	4308

6. 環境活動の対象期間と発行日

対象期間：３０年度　(2018年8月1日～2019年7月31日)　レポート発行日：2019年10月31日

対象事業所
(1) 本社　：札幌市厚別区もみじ台北7丁目1-2
(2) 中央店　：札幌市厚別区もみじ台北7丁目1-2
(3) 新札幌店　：札幌市厚別区厚別中央1条6丁目
(4) 厚別5条店　：札幌市厚別区厚別中央5条6丁目
(5) 厚別東2号店　：札幌市厚別区厚別東2条4丁目
(6) もみじ台南店　：札幌市厚別区もみじ台南6条1丁目
(7) もみじ台ショッピングセンター直営店（リビングもみじ台、だいいち） ：札幌市厚別区もみじ台北7丁目1-2
(8) 牛角ウエスタンパワーズ店：旭川市永山12条3丁目
(9) 串家物語ラフィラ店　：札幌市中央区南4条西4丁目1番地
(10) ホクノー園　：札幌市厚別区下野幌2006番地

7．環境方針

環境基本理念

当社は地球環境に関する責任を厳粛に受け止め、企業活動と環境との調和を図り、環境汚染の防止、資源の有効利用に継続的に取り組み、より良い社会の実現に努める

環境方針

1.事業活動及び当社の製品が与える環境負荷と取り組みの成果を的確に把握し、当社の事業活動にふさわしい以下の環境活動を実施します。

① 消費エネルギーと資源の削減

② 投入資源の削減

③ 廃棄物の減量と再利用

④ グリーン購入の推進

2.環境目標を設定し、適切性維持のため、毎年見直しを行い、環境経営システムを継続的に改善するとともに、自主的、積極的に環境への取り組みを行い、継続的な環境負荷の削減につとめます。

3.環境に関する法令や条例、その他規制を受ける事項を順守します。

4.全従業員が環境方針を理解し、自らの役割を十分に認識し、本方針に沿って活動が行われるよう環境教育を進めます。

2014年8月1日
株式会社ホクノー
代表取締役社長　野地秀一

8. 環境目標とその実績

(1)中期環境目標

項目	28年度目標	29年度目標	30年度目標
項目	前年対比	前年対比	前年対比
消費電力の削減	1．0%削減	前年維持	前年維持
2，907，036KWh/27年度	前年対比	前年対比	前年対比
水道水使用量の削減	前年維持	前年維持	前年維持
10，790㎥/27年度	前年対比	前年対比	前年対比
一般ごみ排出量の削減	0．2%削減	前年維持	前年維持
40．7t/27年度	前年対比	前年対比	前年対比
コピー用紙使用量削減	前年維持	前年維持	前年維持
105，560円/27年度	マイバッグ等持参率	マイバッグ等持参率	マイバッグ等持参率
レジ袋使用量削減	90%	90%	90%

(2)今年度の目標とその実績

項　目	30年度目標	30年度実績
消費電力の削減	前年対比	2，558，245KWh
2，762，834KWh／29年度	維持	目標達成（7．4%削減）
水道水使用量の削減	前年対比	8，851㎥
9，769㎥／29年度	維持	前年対比90．6%
一般ごみ排出量の削減	前年対比	46．9t
44．8t／29年度	維持	前年対比104．7%
コピー用紙使用量削減	前年対比	129，670円
135，341円／29年度	維持	4．2%削減
レジ袋使用量削減	マイバッグ等持参率90%	目標達成

平成29年度　二酸化炭素総排出量　2,138,889kg（前年度　2,192,692.98kg）

（温室効果ガス排出係数：北海道電力㈱0.678kg-CO2/kWh・㈱エネット0.441kg-CO2/kWh）

9．主要な環境活動計画の内容

(1)消費電力の削減

① 不用照明の消灯をする。

② 開店前、閉店後の店内照明は3分の１とする。

③ スポット照明は開店前、閉店後は消灯する。

④ 蛍光管のメンテナンス、チラツキ蛍光管は電力消費が大きいので、速やかに交換する。

⑤ 屋外照明の点灯、消灯事項を調整する。

A) 通常期　4月 ～10月　PM6:30点灯　閉店時消灯

B) サマータイム　7月 ～ 8月　PM7:00点灯　閉店時消灯

C) 冬季　11月 ～ 3月　PM4:30点灯　閉店時消灯

※タイマー設置店は期間で必ず確認の事。未設置点は上記設定時刻に準ずる。

(2)水道使用量の削減

・水道の正しい使い方

① 蛇口は全開しない。（吐水量1分間に約30リットル出ます）
② 蛇口ハンドル回転角度は90度～360度までとする。（吐水量がもっとも効率的です。）
③ 水、お湯の出しっぱなしでその場を離れない。
④ ため置き洗いを徹底する。

・女性用トイレの擬音装置の活用

① 節水のため、必ず音姫センサーに手をかざす。（1回の使用で約8リットルの節水になります）

(3)一般ゴミ排出量の削減

① 札幌市環境事業公社の分別基準に従い分別する。
② 各ゴミ置き場の分別表示を基に排出する。
③ リサイクル資源ゴミも上記公社基準に従い分別する。
④ 体積減量のため出来るだけ圧縮する。
⑤ 一般ゴミは札幌市環境事業公社に回収依頼する。
⑥ 生ゴミは札幌市環境事業公社に回収依頼する。
⑦ 資源リサイクルゴミは札幌市環境事業公社に回収依頼する。

(4) コピー用紙使用量削減

① 会議資料は裏面印刷で使用枚数を削減する。
② 連絡、報告事項は紙ベースでなくホクノーweb 掲示板を利用する。
③ ミスプリント用紙は裏面コピーで再利用する。

（5）レジ袋使用削減

マイバッグ等持参率向上によるレジ袋削減に向けた取組みに関する協定締結。
三者協定（事業者、市民団体、札幌市）　平成20年 9月 3日締結。

【1】協定の概要

A)協定の目的：ゴミ減量と二酸化炭素の削減を推進し、循環型社会の実現と地球環境の保全を図ることを目的とし、市民、事業者、行政が協働して、札幌市内で利用されるレジ袋の削減を目指す。

B)協定の役割：マイバッグ等持参率の目標を設定した上で、マイバッグなどの持参促進及びレジ袋の有料化(1枚3円）による削減を積極的に取組む。

C)マイバック等持参率目標設定

＜28年度＞90%　＜29年度＞ 90%　＜30年度＞ 90%

【2】レジ袋有料化（1枚3円）によるレジ袋の販売代金は北海道ＣＧＣみどりとこころの基金を通じて、環境保全活動や地域貢献活動などに還元し、その内容を公表する。

【3】23年度マイバッグ等持参率実績～レジ袋無料時のマイバック持参率　25%

レジ袋有料化取組後のマイバッグ等持参率	
平成２５年度	89.7%
平成２６年度	90.0%
平成２７年度	90.1%
平成２８年度	90.0%
平成２９年度	90.1%
平成３０年度	90.1%
年間マイバッグ等持参率９０．０%達成	

【4】詳細は下記ホームページ公表中
A)北海道ＣＧＣ みどりとこころ基金
Ｂ)札幌市環境局環境事業部ごみ減量推進化

10.環境活動の取組み結果の評価

（１）消費電力の削減

もみじ台ショッピングセンターの空調機を更新、夏期の熱供給を使用しなくなったほか、空調機の運転は、ピーク時を避け早朝にシフトするなど消費電力削減に努力、目標達成した。日々の朝礼、ミーティング等での繰り返し教育で従業員の意識向上を図り節電に努力し、引き続き更なる削減に努力する。

（２）水道使用量の削減

無駄の排除で節水に努め、更なる節水の徹底を図った結果、前年比９．４%削減となり目標達成、更なる削減に努力する。

（３）一般ゴミ排出量の削減

焼却ごみと資源ごみの分別を徹底したが目標未達成。更に分別徹底を図り、削減に努力する。

（４）コピー用紙使用量削減

会議資料の削減、新事業である健康ステーションに関する使用量の削減に努め、目標達成となった。今後も更なる削減に努力する。

（５）トレーの回収

中央店、新札幌店、厚別５条店、厚別東２号店、もみじ台南店の５店で回収ボックスを設置して実施している。

（６）発泡スチロールの再資源化

発泡スチロールの減容機を購入、容積を削減しながら、発泡スチロールの再資源化を実施している。

（７）ホクノー園についての環境負荷は微量である。

（８）マイバッグ等持参率

平成３０年度マイバック等持参率目標90%に対し、90.１%の実績で目標を達成した。引き続き更なる持参率の向上に努める。

11.環境活動での更なる削減目標

(1)全社的に既設冷蔵設備関連の老朽化で節電に限界が来ている為、順次省エネタイプに取替えを進めるとともに、照明設備については、LED 照明に切替えることで電力消費量の削減を図り、二酸化炭素排出量の削減に努める。

(2)平成28年度に大規模２施設の電気事業者を温室効果ガス排出係数の低い新電力へ変更、更に３施設を本年度新電力へ変更済。また、昨年度もみじ台ＳＣの空調機を更新、夏期の熱供給使用がなくなったことにより、大幅に二酸化炭素排出量の削減を図っている。

12.認証、登録対象範囲の全社的取組み拡大(牛角、串家の取組み拡大) の実施時期は２５年度より実績を反映し、削減に取り組んでいる。

13.食品廃棄物等の再生利用の実施率は90.2%。これは旭川市所在の牛角ウエスタンパワーズ店の生ゴミが旭川市のルールに従って現状では焼却となっているためである。食品廃棄物等の発生量は46.9tで、再生利用等の実績は再生利用42.3t、焼却4.6tである。基準実施率が８０%を超えているので現状維持として改めて目標値の設定をしないが、減量に努力する。また、グリーン購入はルールを決めて実施しているので改めて目標の設定をしない。

14.環境関連法規への違反、訴訟等の有無

(1)罰則、行政指導に関わる義務規程について、違反及び関係機関から指摘はなかった。 また、訴訟等も１件もなかった。

15.代表者による全体評価と見直しの結果

(1)環境方針の改訂はありません。ただし、環境目標・環境活動計画・環境経営システムの方向性をいま一度確認していく。 引き続き法令遵守、地域貢献を念頭に行動していく。
特に高齢化社会における地域環境の保全を考慮したい。

(2)環境目標は、人的な目標設定では限界が来ているため、ハード面の見直しを平成２6年４月より段階的にビル及び店舗照明のLED化を実施中で、効果が出ている。昨年度、もみじ台ショッピングセンターの空調機械入替を実施済で、エネルギー源を地域暖房の温水から電力へ変更、効率良い運用を図ることで昨年度末から大幅にＣＯ2排出量削減となっている。今後更なる省エネ化と経費削減を図るため、夜間等、不採算の時間帯の店舗営業時間見直しを検討して行く。

(3)環境活動計画について、各拠点における管理者の責任が重要と考える。管理者会議等でＰＤＣＡサイクルに基づき、計画を明確にして着実に遂行したい。

(4)環境経営システムを通じて、生産性の向上に努めたい。